

白川勝利で 四国から 野党連合政権の扉を開こう

比例は日本共産党

衆議院比例四国・名簿登載予定



11月6日、「6の日行動」で党を代表して挨拶。市民連合の寺尾徹教授、木村篤史県議、富野和憲立憲民主党県連代表代行、井角操新社会党委員長、秋山時貞県議や市議などが勢ぞろいしました。



LINE 公式アカウント



白川よう子



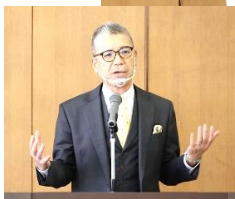
8日、四国中央市議選告示、3候補を応援。

交流集会

農業農村政策の課題
への期待 小松泰



8日、観音寺市での四国農民連の研究交流集会で挨拶。小松泰信岡山大学名誉教授が講演しました。



7日、香川県委員会総会で中根耕作比例予定候補が挨拶。



「この人に国の舵取りを任せておいて大丈夫だろうか？」臨時国会の論戦を見て誰もが感じていた事ではないでしょうか。学術会議の任命拒否に関する質問にまともに答えられず、答弁の中身もコロナ変わる。「官房長官の答えた通りです」と誰が総理なのかもわからない状況。挙句、「調整がなかったから任命をしなかった」との新たな答弁も飛びだし、政治的介入がさらに大問題になっています。もはや日本学術会議だけの問題ではありません。人文社会系226の学会も任命拒否撤回を求め、史上初めての共同声明を発表しました。違憲・違法の任命拒否を許さない声をあらゆる立場からあげていきましょう。

6日は高松市で市民連合、立憲民主党、新社会党、無所属県議、市民派ネットがそろって「6の日行動」に参加。私も党を代表してご挨拶。7年続くこの行動は、信頼関係のもとにエールを送り合っています。四国は野党共闘の先進地、野党連合政権へいっそう力を合わせます。

8日、四国中央市議選挙がスタート。青木永六市議からバトンタッチの島勝之さん、2期目の飛鷹ゆうすけ市議、3期目の市議団長の三好ひとし市議が、定数22に26人が立候補した大激戦を闘っています。3人の市議団は市民と力を合わせて国保料の引き下げや、愛媛県内一番乗りで中卒までの医療費完全無料化を実現してきました。市民の「命綱」の3議席を必ず勝ち取ります。

よう子記
